

ミステリ読書案内

2024. 7. 9 発行元

第588号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

木谷恭介「ベスト表」(再掲)

1980年代から2000年代頃にかけて、通俗的なミステリの書き手として活躍した木谷恭介の『ベスト表』を取り上げる。ノベルスの時代そしてトラベルミステリの時代を支えた一人とも言えるだろう。

「京都ミステリ」の書き手の一人

「木谷」の読みは「こたに」である。木谷恭介はルポライターの出身で、世相を反映した読物を得意にしていた。ミステリ作品もその流れに沿ってスタートしている。『宮之原警部シリーズ』が定着してからは警察小説風にもなったけれど…。

日本のミステリ史に名が残るほどの作品を残しているわけではない。2000年代頃のブックオフで

手に入りやすい状態だったので、連続して読んでみたということである。右に『ベスト表』を載せてみたが、「京都」と名のつく作品が多い。「京都ミステリ」の書き手の一人であったことは間違いない。

これまで私の『ミステリ読書案内』では『代表作』を取り上げていない。そこで今回は『京都華道家元殺人事件』と『世界一周クルーズ殺人事件』の二冊を取り上げてみることにした。図書館にあるかな？

《木谷恭介作品のベスト表》

1. 新幹線のぞみ47号消失！
2. 四国松山殺人事件
3. 「邪馬台国の謎」殺人事件
4. 函館恋唄殺人事件
5. 長崎キリシタン街道殺人事件
6. 京都木津川殺人事件
7. 京都四条通り殺人事件
8. 倉敷美術館殺人事件
9. 尾道殺人事件
10. 京都氷室街道殺人事件
11. 世界一周クルーズ殺人事件
12. 特急ひだ3号30秒の死角
13. 神戸異人坂殺人事件
14. 「水晶の印」殺人事件
15. 京都除夜の鐘殺人事件
16. 「冬の蝶」殺人事件
17. 越後親不知殺人事件
18. 百万塔伝説殺人事件
19. 五木の子守唄殺人事件
20. 大和いにしえ殺人事件
21. 京都紅葉伝説殺人事件
22. 伊予松山殺人事件
23. 謀殺列島赤の殺人事件
24. 京都華道家元殺人事件
25. 謀殺列島紫の殺人事件
26. 信濃塩の道殺人事件
27. 謀殺列島黄金の殺人事件
28. 京都嵐山殺人事件
29. 龍神の森殺人事件
30. 博多大花火殺人事件
31. 丹後浦島伝説殺人事件
32. 東北三大まつり殺人事件
33. 札幌源氏香殺人事件
34. 木曾恋唄殺人事件
35. 出雲いにしえ殺人事件
36. 京都石堀小路殺人事件
37. 京都吉田山殺人事件
38. 京都渡月橋殺人事件
39. 京都高瀬川殺人事件
40. 京都百物語殺人事件
41. 飛騨高山殺人事件
42. 紅の殺人海溝
43. 萩・西長門殺人事件
44. 鎌倉釈迦堂殺人事件
45. 吉野十津川殺人事件
46. 京都小町塚殺人事件

「京都華道家元殺人事件」

1986年トクマノベルス

最初に出た時の題名は『京都』ではなく『華道家元殺人事件』だった。宮之原警部シリーズの第一作になる。長編としては第七作に当たる。

題名のとおり日本最大の華道の流派・烏丸流の家元で起きた事件。家元の弟・宏二郎による百億円の横領が噂され、その取材に集まっていた記者たちの目の前で、抜き身の刀を持った男が屋敷の中に突入する。周りが混乱する中で宏二郎が殺され、その犯人の行動に目を奪われている間に宏二郎の死体が消えてしまう。死体は翌日に北山のスギ林で発見される。その後、家元の長男・邦晴と結婚を予定していた茶道・柴小路流家元の娘・紗世子が行方不明になる事件へと発展していく。この場面に登場してくる宮之原警部は警察庁の遊撃捜査係という位置づけで、単独に近い形の捜査を開始する。華道家元の派閥争いであったり、他流派の覇権争いなどが絡んできて…。さて、結末は…。

「世界一周クルーズ殺人事件」

2001年に角川春樹

事務所から出た本。その後ハルキノベルスに入った。木谷恭介にとっては117番目の作品で、かなり後期のもの。宮之原警部シリーズ。作家の人達の中にはある程度実績が出ると、クルーズ船に乗って世界一周する企画が持ち込まれるようだ。内田康夫作品にも世界一周が出てくる。

京都博物館所蔵の平安時代の定朝作とも言われる阿弥陀如来像が盗まれた。国宝修理所で燻蒸室での殺虫処理をしている途中だったという。文化庁の湖東部長から捜査を依頼された警察庁広域捜査官・宮之原昌幸が捜査に着手する。仏像が解体されて海外に出るという情報を得て、世界一周クルーズ船やまと丸に乗船することに。美術商「火の鳥」の三輪田社長の動きに注意を向けながら…。南シナ海、インド洋、地中海、バルト海、大西洋、太平洋…。その中で殺人事件が…。ニューヨークの世界貿易センタービル破壊の年の情勢も踏まえて…。